

精密検査実施医療機関の一覧作成について

R4.11.24

長野県健康福祉部 保健・疾病対策課

作成の理由

2

◆ 市町村チェックリスト

「受診可能な精密検査機関名の一覧の提示」
を達成できない市町村が多い

- ➔ 具体的な医療機関名を挙げるできない
- ➔ 健康づくり事業団ではリストを作成しているが、
大腸・肺CT(X線検査ではない)・乳がん検診の3種類のみ

◆ 長野県の精密検査受診率は、 目標値90%を達成できていない

- ➔ 要精検者に対し、具体的な医療機関名を挙げ、
受診を勧奨する必要がある

作成の理由

3

◆ 国立がん研究センターのマニュアルによると、
県による精検機関の登録制度 が事例として
挙げられている

◆ 他県の取組内容

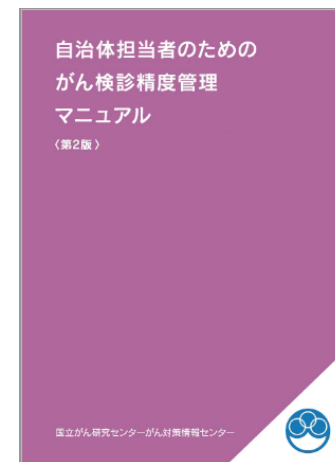
精密検査に一定基準を設け、一覧を県が作成

【作成方法】

医療機関が申請書提出

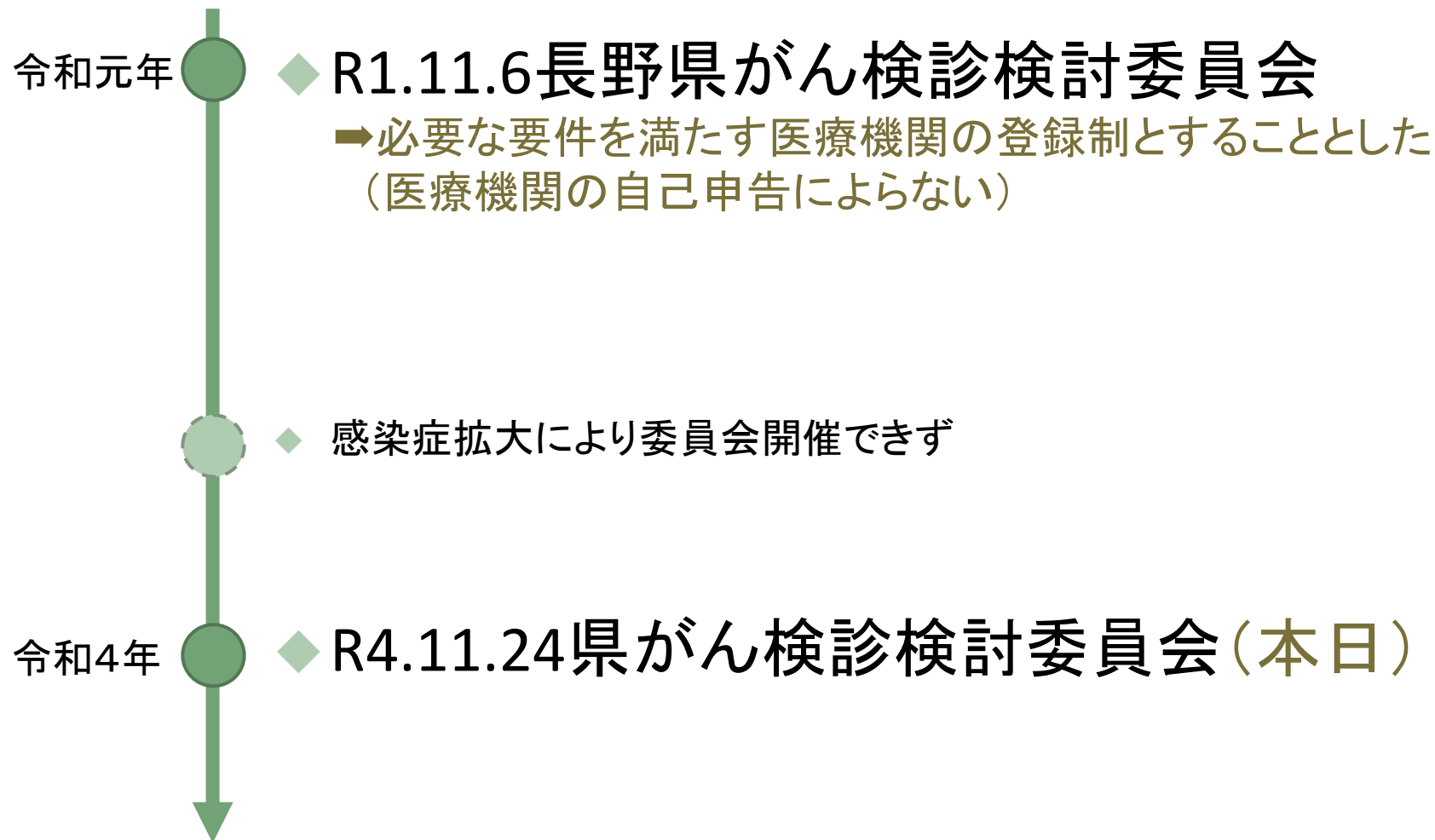
➔ 医師を含む会議で審査

➔ 県が決定



がん検診検討委員会における経過

4



懸念点いろいろ



5

検討委員会での懸念

◆【一定の基準が必要】

対策型検診は受診者にとって不利益にならないことが重要であり、検査実績や感染管理等が適切かどうかも大切

◆【基準を高くしすぎでは望ましくない】

県民のアクセス(検査のキャパシティ)を考慮すると、現実的には非専門医も参加して頂く必要がある

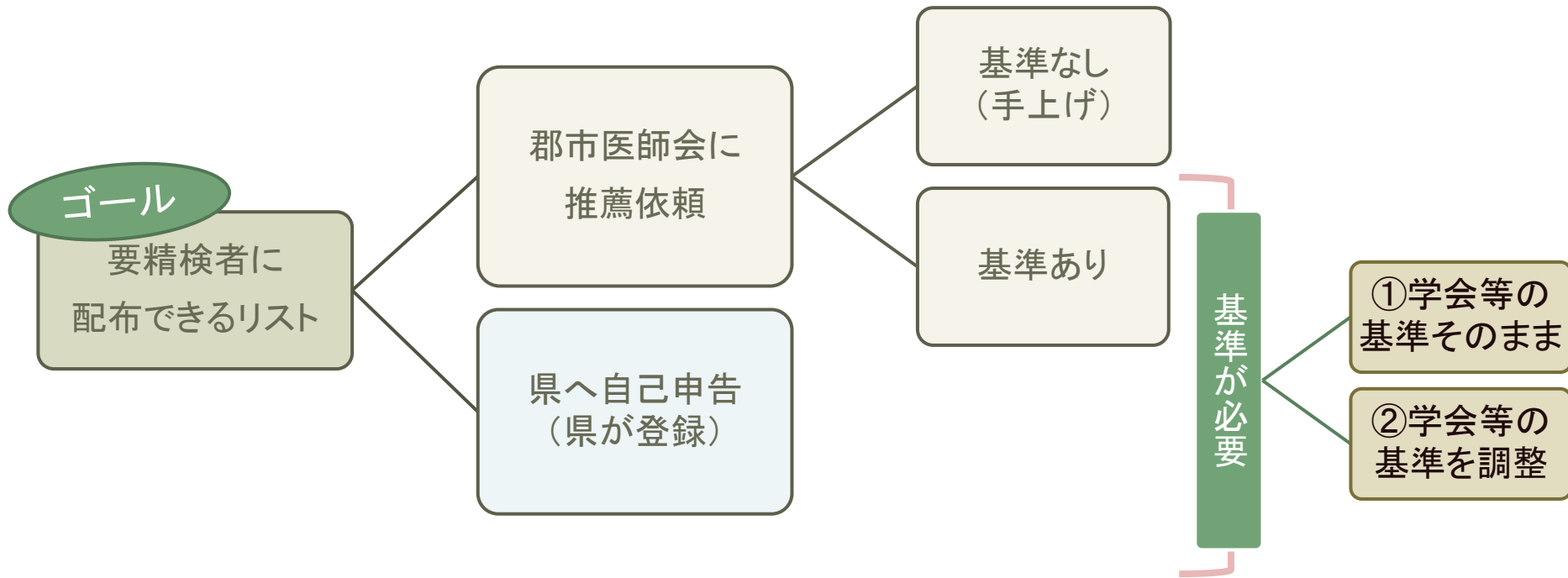
県内医療機関の懸念

- ◆ 高い基準に基づく一覧となると、受診患者が減少する可能性がある

対応案

6

各種懸念を踏まえ、学会基準等から抜粋して基準を作ることがよいのでは



対応案

7

全部位で同レベルであることを目的に、各部位の学会等の基準から「望ましい」項目を削除した場合

胃エックス線・内視鏡検査: 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル 2015年度版

肺エックス線検査: 肺がん取扱い規約 第8版(2017年1月)

大腸便潜血検査: 大腸がん検診マニュアル(2021年度改訂版)

乳がん: 乳がん検診の精密検査実施機関基準(2022改定案)

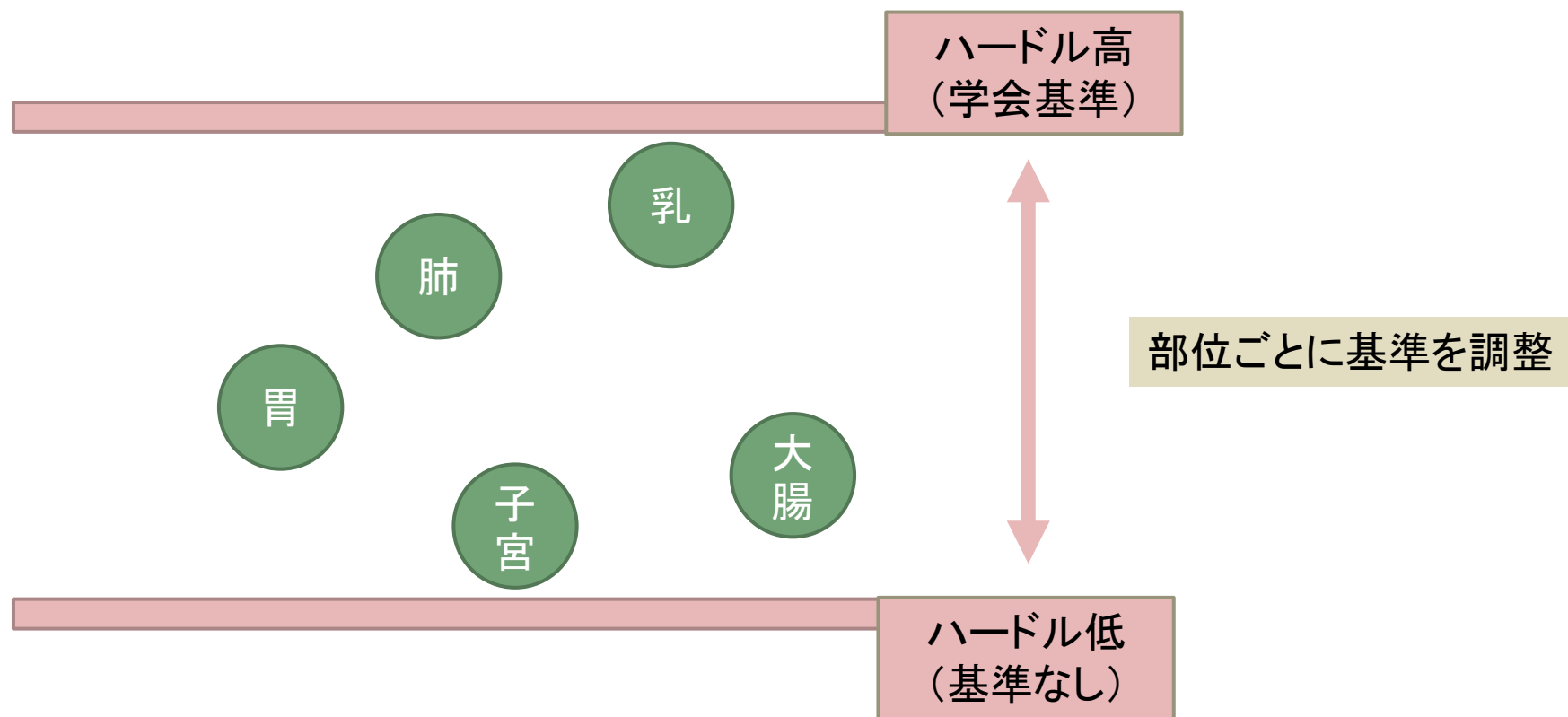
子宮頸がん: 子宮頸癌取扱い規約 第3版(2012年4月)

➡ 各部位マニュアル等(基準)に濃淡あり

対応案

8

学会等の基準を基に、事務局と委員の先生方で、各部位ごとの基準を定めたい



作成スケジュール

9

